

☆第56回岸田國土戯曲賞 受賞作☆

ミクニヤナイハラプロジェクト

「前向き！タイモン」全国ツアー開催！

7月19日～9月8日 伊丹、仙台、いわき、東京、名古屋



本作は2010年に京都にて初演、シェイクスピアコンペ優秀賞を受賞した後、2011年にこまばアゴラ劇場にて本公演を実施、大好評を博し、昨年（2012年）の第56回岸田國土戯曲賞を受賞しました。

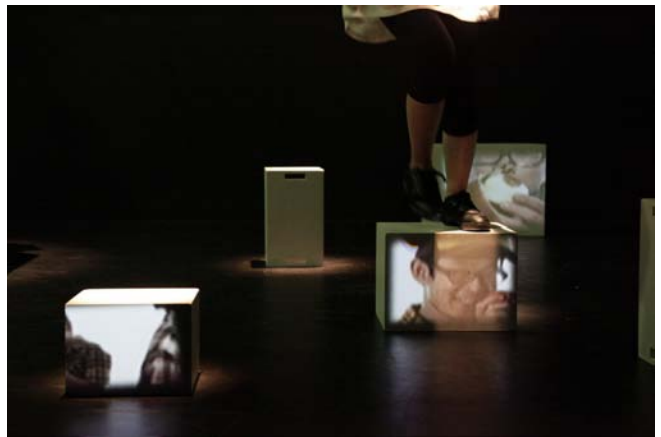
ミクニヤナイハラプロジェクトは、横浜を拠点に国内外で活動するダンス・カンパニー「ニブロール」の主宰・振付家である矢内原美邦が2005年に始めた演劇プロジェクトです。その圧倒的な情報量と運動量で知られる舞台では、劇画的にデフォルメされた自己中心的なキャラクターたちが、言葉と体をダンスするかのごとく高速回転させ、ドライブ感に溢れた舞台を創り上げます。その中でも「前向き！タイモン」はその独自のスタイルのひとつの到達点といえる作品です。

また、本作は3.11以降に生きる日本人にとって最も大切であると矢内原が考える「前向きに生きること」をテーマに、不幸な環境に置かれた3人の登場人物がそれでもがむしゃらに「前向き！」に生きる、その姿勢、叫びを描いています。

そんな本作が、今年7月中旬～9月上旬にかけて全国5都市にて、ミクニヤナイハラプロジェクト初となる全国ツアーを行います。不幸のどん底にいる3人の登場人物が、前のめりになるくらい前向き！に生きるその姿と、前を向いたときに生み出される「生きることへのエネルギー」を、是非ご覧ください。

（お問い合わせ：プリコグ 奥野 03-3423-8669 info@precog.jp.net）

【公演写真】



2011年9月 こまばアゴラ劇場 ©Nobutaka Sato

【作品コンセプト】

前向きに生きる。これは簡単なことではありません。

前向きに努めながらも、なにひとつ報われないまま人生が終わることなどよくあることです。だからって後ろ向きはまっぴらごめんです。

前のめりになるくらい前向きに人生を歩もうではありませんか？

後ろ向きな人生が、あることをきっかけにパッ！と前を向いたときに生み出される、生きることへのエネルギーを私は信じたいです。

これは不幸などん底にいる後ろ向きな男が前向きに人生を見つめなおす作品、それが"前向きタイモン"です。

【あらすじ】

シェイクスピアの『アテネのタイモン』をベースにした物語。

主人公は大門（タイモン）という金融業をやっている男で、祖父が一代で築いた会社の三代目。祖父は、金融業で財を築いたわけではなく、実はひよこの雌雄を判別する鑑別師。その技術で財を築いた。父親は早くに亡くなり、祖父に育ててもらった主人公の大門は「イイ大門（タイモン）」「普通的大门（タイモン）」「悪い大門（タイモン）」の3つのキャラクターを持っている。大門は日々ユリさんという女性をお屋敷で自分の部屋からでないで待っている。お屋敷で働くメイド達はただ、お屋敷の掃除をしている。ある日、タイモンは雨の日に散歩をしていて出会ったリンゴ農家の人がリンゴが売れないことを嘆いており、大門は、親切心からすべてのリンゴを買い取ることになる。おかげでリンゴは高値になって、例えば1箱10万とかの、そんな凄い価格になったりして、リンゴがお金と同等になる。毎日運ばれてくるリンゴ、しかし、メイドはまったくリンゴを剥いてくれず、大門は、それに苛立ちつつも、祖父の思い出からクリスマスには特別な想いがあり、実は誕生日がクリスマスだということも微妙に関係して思いをはせたりするが結局リンゴの皮はむけない、ユリさんはやってこない。ただ、リンゴの皮さえむけていればと思うだけで、行動にはおこさない。

【岸田戯曲賞選評（抜粋）】

無責任な言葉の羅列でイメージを喚起させ、無責任にイメージがぶつかり合う。それだけで、ストーリーが紡がれていく。久しぶりに登場した、その種の作家だ。私はこういう作品に演劇の可能性を見る。(中略)マニュアルのように書いてくる巧さではなくて、伸びやかである。つまり無責任に楽しんで書いている。舞台を好きな人間の現場から生まれてくる、しなやかで無責任なうまさである。と確信する。ー野田秀樹

この世界この社会の構造の理不尽さに、誠実だがしかし粘りを見せることもなく絶望したりシニカルになったりする、というのは反対の仕方、基本的に明るくそれこそ前向き!に向かい合う。そのとき不可避免的に生じる残酷さについても、これまた明るく引き受けちゃう。そういったこの作品の、責任の高い姿勢も支持したい。ー岡田利規

【クレジット（出演者・スタッフ）】

作・演出・振付：矢内原美邦

出演：笠木泉、鈴木将一朗、山本圭祐

映像：高橋啓祐 舞台美術：細川浩伸（急な坂アトリエ）

舞台監督：鈴木康郎 照明：南香織 企画・制作：precog

【上演歴・受賞歴】

上演歴： 2010 京都府文化芸術会館（京都）
2011 こまばアゴラ劇場（東京）／京都府文化芸術会館（京都）
受賞歴： 2010 シェークスピア・コンペ 優秀賞受賞
2012 第56回岸田国土戯曲賞受賞

【ミクニヤナイハラプロジェクトとは？】



「3年2組」@吉祥寺シアター（05年）



「青ノ鳥」@吉祥寺シアター（07年）



「五人姉妹」@吉祥寺シアター（09年）

1997年にディレクター集団・ニブロールを設立して以来11年間、代表／振付家として活動してきた矢内原美邦が、「演劇作品」を製作することを目的に立ち上げたソロプロジェクト。些細にみえる日常を大胆に切り取りスケッチした物語群の中に、ノスタルジーを喚起する往年の日本アニメへのオマージュや自らが作詞する淡い青春ラブソングを織り交ぜ、意識的に「演劇的」でありながらも、様式に束縛されない手法が注目を集める。その圧倒的な情報量と運動量で知られる舞台では、劇画的にデフォルメされた自己中心的なキャラクターたちが、言葉と体をダンスするかのごとく高速回転させ、ドライブ感に溢れた魅力が生まれる。

05年吉祥寺シアターこけら落とし公演として『3年2組』発表。07年ソロダンス作品『さよなら』で第一回日本ダンスフォーラム賞を受賞。08年『3年2組』で愛知県芸術劇場演劇フェスティバル出場。08年『青ノ鳥』で第52回岸田国土戯曲賞最終候補作品ノミネート。09年NHKシアターコレクションに出場。11年『前向き！タイモン』にて第56回岸田国土戯曲賞を受賞。

<http://nibroll.com>

【矢内原美邦 やないはら・みくに プロフィール】



1970年生まれ。1997年、各分野で活躍するアーティストを集めたパフォーミング・アーツカンパニー「ニブロール」を結成、代表兼振付家としての活動を始める。日常的な身振りをベースに現代の東京の空気をドライに提示する独自の振付で、海外のフェスティバルにも招聘されるなど活躍。2005年、吉祥寺シアターのこけら落とし公演を契機に「ミクニヤナイハラプロジェクト」を始動、劇作・演出を手がける。2012年、『前向き！タイモン』で第56回岸田國士戯曲賞受賞。また、舞台作品と平行してビデオアート作品の制作を始め、「off-nibroll」として映像作家の高橋啓祐と共に活動。

<http://www.nibroll.com/>

【鈴木将一朗 すずき・しょういちろう プロフィール】



2002年から08年まで劇団東京乾電池に在籍し、柄本明演出の劇団公演や遊園地再生事業団等宮沢章夫作品に多数出演。

近年はミクニヤナイハラプロジェクトを中心に活動しており、2010年出演した1人舞台『前向き！タイモン』がシェイクスピアコンペにて優秀賞を受賞。

【笠木泉 かさぎ・いずみ プロフィール】



1995年遊園地再生事業団「知覚の庭」に参加後、宮沢章夫の作演出作品に多数出演。ペンギンブルベイルパイルズ、劇団、本谷有希子、はえぎわ、ミクニヤナイハラプロジェクト等に客演する。特殊な声を生かしアニメ「ピューと吹く！ジャガー」に声優として参加。映画、ドラマなどにも多数出演。近年の映像出演作は映画「パンドラの匣」、「シャーリーの転落人生」、「ゴールデンスランパー」、ドラマ「名前をなくした女神」など。

【山本圭祐 やまもと・けいすけ プロフィール】



日本映画学校卒業後、劇団、本谷有希子、東京タンバリン、ラフカット、ピチチ5、ボクデス&チーム眼鏡などに参加。ニブロールには『ノート（裏）』より参加。映像には『塩鮭』監督小田学、『恋路物語』監督菅野宏彰、『デッサン』監督佐藤信介等に出演。

【ツアー概要】

・ 日程

| | |
|------------------|-------------------|
| 7月19日(金)～21日(日) | AI・HALL(伊丹) |
| 8月15日(木)、16日(金) | せんだい演劇工房10BOX(仙台) |
| 8月17日(土) | UDOK.(いわき) |
| 8月22日(木)～9月2日(月) | こまばアゴラ劇場(東京) |
| 9月7日(土)、8日(日) | 七ツ寺共同スタジオ(名古屋) |

・ 詳細日時

AI・HALL公演

7月19日(金)19:30 開演
7月20日(土)15:00 開演
7月21日(日)15:00開演

せんだい演劇工房10BOX公演

8月15日(木)19:30開演
8月16日(金)19:30開演

UDOK.公演

8月17日(土)19:00開演

こまばアゴラ劇場公演

8月22日(木)19:30開演
8月23日(金)19:30開演
8月24日(土)15:00開演
8月25日(日)15:00開演
8月26日(月)19:30開演
8月27日(火)19:30開演
8月28日(水)休演日
8月29日(木)19:30開演
8月30日(金)19:30開演
8月31日(土)15:00開演

9月1日(日)15:00開演

9月2日(月)19:30開演

七ツ寺共同スタジオ公演

9月7日(土)15:00開演/19:30開演

9月8日(日)15:00開演

・会場住所、連絡先

AI・HALL(兵庫県伊丹市伊丹2-4-1 TEL:072-782-2000)

せんだい演劇工房10BOX(宮城県仙台市若林区卸町2-12-9 TEL:022-782-7510)

UDOK.(福島県いわき市小名浜本町29-2)

こまばアゴラ劇場(東京都目黒区駒場1-11-13 TEL:03-3467-2743)

七ツ寺共同スタジオ(愛知県名古屋市中区大須2-27-20 TEL:052-221-1318)

・チケット 6月8日(土)発売!

前売2800円/学生2500円/当日3200円(日時指定、整理番号付自由席)

チケット取扱:

プリコグWEB ショップ <http://precog.shop-pro.jp/>

アイホール Tel.072-782-2000(アイホール公演、電話予約のみ)

・お問合せ

プリコグ 03-3423-8669 info@precog-jp.net

主催:ミクニヤナイハラプロジェクト、boxes Inc.(仙台)

共催:AI・HALL(伊丹)

提携:(有)アゴラ企画・こまばアゴラ劇場(東京)

助成:芸術文化振興基金、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、公益財団法人アサヒビール芸術文化財団

特別協力:急な坂スタジオ